
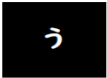

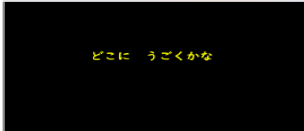



教材紹介カード		教科等	自立活動
教材名	初めての単眼鏡 (単眼鏡の導入1)	部門	視覚障害教育部門
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 弱視児が単眼鏡で見る楽しさ、はっきり見える実感を味わい、単眼鏡をつかってみたいと思う意欲を持てるようにする。 		
写真	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">第1段階・・・イラストや文字のカード例</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">第2段階・・・パワーポイント教材例</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>		
指導内容 ・ 指導方法	<p>第1段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ピントを合わせた単眼鏡を渡し、見る位置を伝えて、児童が提示されたものを見る。(見えたことを実感する。) 見えたものを共有して、しっかり見えたことを称賛する。 単眼鏡のピントを確認してから、提示するものを変えて、①②を行う。 単眼鏡のピントを確認してから、提示する位置を変えて①②を行う。 <p>第2段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ピントを合わせた単眼鏡を渡し、インタラクティブボードの見る位置を確認してから移動するものを追うように伝える。 移動していくものを追って最後に隠れた場所を聞き、上手に動かしていたことを称賛する。 単眼鏡のピントを確認して、移動するものを変えて①②を行う。 		
特徴 ・ 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 児童の視力をはじめとする視機能を把握する。 弱視児が単眼鏡で見ることを実感できる。 見るのが楽しくなるように指導・教材を工夫する。 この段階ではピントは合わせたものを児童に渡す。 単眼鏡にレーザーポインターをつけて児童が見ている場所や単眼鏡の動かし方を確認することを常に行う。 この段階の中で、単眼鏡で単独指標をみて、どの程度の指標をみることができか確認することを毎回行う。 		
材料・製作上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 第2段階では、パワーポイントで教材を作成する。児童の視力に合わせて、動きや絵の大きさを適切なものにする。 教材の背景と絵や文字のコントラストは児童の見やすいもので作成をする。 		
製作年月日	令和6年6月	教材作成者	岡前 むつみ